

合格体験記（AO方式入学者選抜）

第 1 項 表象文化 学部 英語英文 学科

出身高校名 フォール学院高校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

同志社女子大学では、習熟度別クラスで自分の学力に合わせて英語を学ぶことができるので、その点を魅力に感じました。また実際に英語を話す機会が沢山あることで、同時にコミュニケーション力も身に付けることができると考えました。さらに私が英語英文学科を選んだのは留学が必須ではないため、入学後に考える機会があるからです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

AO入試を受けることで入学できるチャンスが、増えると思ったからです。また、この入試方式は自分が同志社女子大学に入学したいという強い思いを直接伝えることができる入試方式だと思いました。さらに高校時代に身につけた、人に自分の意思を伝える力を十分に発揮することができると思う、自分に合った入試方式だと思いAO方式入学者選抜を受験しました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

キリスト教活動として献金や朝の礼拝で話した経験をアピールしました。この活動を通して多くの問題を様々な方向から見ることができるようになったことや、高校時代文化祭の企画代表として企画を考えたりクラスで話し合いを重ねたことから得た協調性や積極性について大学入学後どのように生かしていけるかを踏まえて、話しました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

一次審査は書類だけで合否がでるのびとにかく誰が読んでわかりやすい文を意識して作成しました。不安な点も多かったのを先生に添削していただきました。また文章量も多いため自分が伝えたいことから話がずれていないかを何度も確認したり、自己アピールや志望理由書で何度も同じ話をくり返さないように注意しながら作成しました。

〔面接〕

面接では練習の時からプレゼンをするのではなく、会話をすることを意識して行いました。答える内容もすべて暗記しないことと少し違、た角度からの質問も臨機応変に対応することができました。本番は緊張しましたが、面接官の目を見て笑顔で自信を持ってゆくり話すことを心がけて面接に挑みました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試では自分の思いを直接伝えることができるので、自分のことをしっかり理解することや、なぜ同志社女子大学で学びたいのかを明確にすることが大切だと思います。AO入試の対策と勉強の両立は本当に大変だと思いますが、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています!!